教育プログラム・コースの概要

大学名等	慶應義塾大学大学院薬学研究科　薬学専攻
教育プログラム・コース名	がん薬物療法実践コース（インテンシブコース）
対象職種・分野	社会人薬剤師
修業年限（期間）	約6ヶ月
養成すべき人材像	がん臨床の現場において、高度な医療の実践を展開できる人材を養成する。さらに、臨床研究活動も展開し、研究マインドの高いがん専門薬剤師（oncologist pharmacist）の育成も目指す。
修了要件・履修方法	・国内の先進的がん医療施設での研修を通じて、高度ながん医療を実践し、研修発表会やルーブリックを用いた到達度評価を行う。 ・本大学大学院他研究科が設置するがんに関する基礎的な講義・プログラムを受講し、レポート評価に合格すること。 ・講義形式の研修会、症例検討会およびスモールグループディスカッションに参加し、レポート評価に合格すること。 ・本大学大学院他研究科が設置するがんに関する応用的な講義・プログラムを受講することも推奨する。
履修科目等	＜必修＞ ・国立がん研究センター中央・東病院、がん研究会有明病院、慶應義塾大学病院等の国内の先進的がん医療施設において、研修を行う。 ・本大学大学院他研究科が設置するがんに関する基礎的な講義・プログラム ・講義、症例検討およびスモールグループディスカッション ＜選択＞ ・本大学大学院他研究科が設置する応用的な講義・プログラム
がんに関する専門資格との連携	がん専門薬剤師（日本医療薬学会）、外来がん治療認定薬剤師（日本臨床腫瘍薬学会）の既資格取得者には研修単位を発行する。
教育内容の特色等（新規性・独創性等）	先進的がん医療施設で、CAR-T療法、新規抗体医薬（免疫チェックポイント阻害薬、bispecific抗体、ADC製剤を含む）、新規分子標的薬併用療法、ゲノム医療（precision medicineを含む）などを学ぶ。場合によっては研究活動も行い、学会発表や論文公表も目指す。
指導体制	研修先病院のがん専門薬剤師や指導薬剤師が担当し、研究テーマ①「がん医療の現場で顕在化している課題に対応する人材養成」やテーマ③「新たな治療法を開発できる人材の養成」に関わる。さらに余力のある参加者には、テーマ②「がん予防の推進を行う人材養成」にも参加し臨床研究を指導していく。
修了者の進路・キャリアパス	修了生は、大学病院やがん専門病院、さらに地域基幹病院に就職してがん専門の薬剤師として勤務する。がん専門薬剤師、外来がん治療認定薬剤師の資格獲得を目指す。
受入開始時期	令和6年4月

受入目標人数 ※当該年度に「新たに」入学する人数を記載。 ※新規に設置したコースに限る。	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	計
	0	1	1	1	1	1	5

受入目標人数設定の考え方・根拠	毎年コンスタントな入学生の確保を目指す。新型コロナウィルス感染は収束しておらず、毎年多人数をの入学はあえて求めない。

履修者数 ※当該年度に「新たに」入学した人数を記載。 ※新規に設置したコースに限る。	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	計
	0	0					0